

協議案件 1

足にテグスが絡まったトビが保護され、何度か放鳥するが飛ぶことができない。概要は以下のとおり。

【当該トビの概要】

- 2月10日 深い排水溝（肉の脂がたまっている）に落ちているトビを確認したが、鳥インフル発生中のため、心配しつつ様子を見ることにした。
- 2月12日 生存を確認し、排水溝から上げた。飛ばないため、動物病院で診てもらったところ、全指（両足）根元にテグスが絡まっていた。除去後、収容。なお、翼の骨折ないことは触診により確認。シャンプーにより洗浄。
- 2月14日 他の救護関係者から飛べるようなら元の場所で放鳥するようアドバイスをもらい、放鳥するが、うまく飛ばず。大勢のカラスが威嚇し始めたため、再度保護することとした。
- 2月19日 左第3指が不自然方向に向く。指付け根はテグスの傷からやや出血。左第4指は萎縮。
- 2月20日 再受診。第3指の血流はあるが、麻痺しているようなので、傷を早く完治させるため、第3、4指の切断手術を提案。2月2日に予約。抗生物質の錠剤14日分を処方
- 2月21日 第3指は弱いながら少し曲げることが出来た。でも大抵は変な方向に向いている。傷部分は湿潤。第4指は根元から自然脱落。現在は右脚のみで止まり木に止まっているが、疲れるのかたまに腹這い状態で休むことあり。
- 2月23日 以前よりもよく暴れるようになってきている。別の獣医師に相談したが、正常位置で固定するという意見も出たが、野生動物にそこまでするのかという雰囲気があった。他からは早く放すべきという意見が強い。そのため、週末の27日に放鳥するか、2日（第3趾切除）の手術をしてから元気になったら放鳥するか、検討中である。なお、左足第3趾の裏側は肥厚しているところがある。



【処置と状態】

- ・テグスの除去
- ・抗生物質の投与
- ・体の洗浄（動物用シャンプーを使用）
- ・削瘦なし
- ・第4趾自然落下
- ・第3趾は腫れて、変な方向を向いている。最近では動かない。
- ・左足は足首まで腫れている。



【協議事項】

- ①必要な処置は何か。
- ②第3指、4指を失った場合、野生復帰（その後生存も含む）は可能か。
- ③飛ばない理由は何か。（現在、室内では距離約3m、高さは約1m）